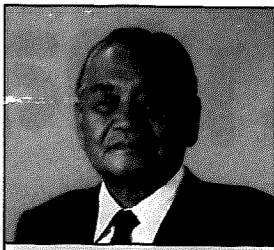


# 豊かな岩室村

## 実現のためにご協力を



岩室村 長 鷺 沢 越 弥

### 新年のごあいさつ

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年、景気浮揚問題で明け暮れた一年でありましたが、今年こそは、景気が回復するよう望んでいるところであります。

おかげさまでもちまして、私も岩室村は、若干の税収の落ち込みはみられましたが、さしたる事もなく新年を迎えることができました。

また、十二月定例議会には、第四次岩室村総合開発計画の承認を

いただき、二十一世紀への道しるべを作成することができました。

平成十年度事業も順調に推移し、岩室中学校の体育館改修工事は、十二月はじめに完了し、和納小学校の食堂棟も予定通り一月中旬には、竣工の運びとなります。

また、平成二年に着工された国営大通川放水路も、関係各位のご協力をいただき、富岡工区の一部を残すだけとなりますが、国道一六号線、JR越後線、県道新潟・寺泊線の交差等工事量はありますが、用地買収は完了しておりますので、計画通り推移するものと確信しております。

さて、新年度事業につきましては、岩室駅の東西を結ぶ地下通路工事が第一になろうかと思っておりますが、一日も早く着工できるように努めてまいります。

次に、下水道工事の一部着工の運びとなり、関係地域の皆様には大変ご迷惑をおかけしておりますが、年々工事量が増大してまいり

ますので、財政負担も莫大になりますが、何としても、やり通さなければなりません。

そんな中で、将来に向けての大事業は、間瀬海岸の埋め立て地利用ではなからうかと考えます。

埋め立て地総面積は七万七千㎡（七町一反歩）程になります。その内、漁港環境整備事業用地が三万㎡、村の単独事業用地が四万㎡余りとなります。埋め立て地造成のための利用計画はできておりますが、実際には、どのような整備をはかり、施設はどうするか等、これからの課題であります。地域の発展と、岩室観光の活性化に、ぜひつなげたいものと考えております。

次に、農政問題であります。今年も昨年度の減反割当になった事は、皆様も新聞紙上等でご承知の通りであります。昨年は、皆様の特段のご協力をいただきながら、達成率九五・七五％で、県下配分一一市町村の内、未達成市町村一四市町村の仲間入りをして

せられてしまいました。

今年からは、未達成市町村には、公共事業等の抑制が懸念されますので、村、農業協同組合、農業委員会、土地改良区等をあげて、一〇〇％達成に向けて取り組んでまいります。

しかしながら、農家の皆様のご協力をいただかなければ不可能であります。何卒ご協力の程をお願いいたします。

また、介護保険制度もいよいよ平成十二年度から実施になります。万遺憾のないよう準備を進めておりますので、ご安心いただきたいと思っております。

色々と申し上げましたが、月々発行される広報いわむろをご覧いただきまして、ご不明の点は何なりとお問い合わせの上、ご理解を賜わり、ご協力をお願いいたします。

何はともあれ、皆さま健康で明るい岩室村でありますよう、ご祈念申し上げましてごあいさついたします。

### 『今年が卯年』

今年が卯年。十二支の四番目の「うさぎ年」です。卯は東の方角、また、「卯の刻」といえば、午前六時ごろを指します。

◆明治中頃から日本でも飼育◆

うさぎは、ウサギ科の哺乳類です。うさぎといくと耳が長く、目が赤く、毛は白、ヒヨコと比べると動物を思い浮かべますが、これは、私たちがよく見る日本白色種で、ほかにも多くの種類がいます。

うさぎが家畜化されたのは十二〜十三世紀ごろといわれ、その後、ポルトガルの航海者が食料の補給源として各地に広めたとされています。第一次世界大戦の頃はヨーロッパ各地で、食用や毛皮用として頻りに利用されました。日本では、日清、日露戦争の頃から、日本白色種が大量に飼育されるようになりました。

◆悪役だったり英雄だったり◆

うさぎの話は、心るくは「古事記」に発しています。うさぎが海の上に並んだワニザメをたまして因幡の国に渡ろうとしてます。しかし、最後にワニザメの怒りを買ってしまい、皮をはぎ取られて苦しんでいるうさぎを大國主命が救うというお話です。

これといった話は、動物競争物語として各国にあります。ただ、勝つ方の動物がカメではなく、ハリネズミ、カニ、ヒキガエル、ナメクジだったりします。

負ける方も、うさぎではなく、ウマ、キツネ、ヒヨコなどさまざまです。

もう一つ、日本の昔話で有名な「カチカチ山」です。この話にはちよつと残酷なシーンもある。最近ではあまり語り継がれていないようです。

…タヌキにおはあさんを殺されてしまい、嘆き悲しむおじいさんに同情して、うさぎがあだ討ちをします。うさぎはタヌキをまき拾いに誘い、タヌキが背負ったまきにカチカチと火打ち石で火をつけてやけどをさせます。さらに、タヌキを泥船に乗せて川に沈めてしまいます。

うさぎの復讐という筋書きですが、知恵が勝利をもたらすというところ、弱きを助け強きをくしく教えるとされています。

# 『村民・行政・議会』皆様の協力

## 体制で、21世紀の新しい岩室村へ



岩室村 長 鷺 沢 越 弥

### 年頭にあたり

村民の皆様、新年あけましておめでとございます。

旧年中は、いろいろとお世話様に相成り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年は、「教育環境」の充実を重点的施策として掲げ、岩室中学校屋内体育館の全面改修、そして校舎移転改築時より懸念事項でありました和納小学校食堂棟の建設も順調に進み、竣工も間近となり、村政も次なる目標に向かって前進しているところであります。

さて、村立図書館も開館一年を迎え、入館者の方も約六万人と、確実に定着しつつあることは、喜びにたえないところであります。これもひとえに、村民各位の特段のご理解、ご協力の賜物と感謝いたしております。

次に、現在大きな社会問題となっている「学校教育」の中にあつて、我が岩室中学校では、生徒自身また教職員の熱心な指導が実を結び、一昨年の「功労ボランティア賞」受賞に始まり、昨年の第15回全国中学校放送コンテスト朗読部門で最優秀賞受賞、県統計グラフィックール「パソコン統計の部」県知事賞受賞など、将来を担う中学生の明るいニュースにふれ、大変喜ばしく頼もしいかぎりでありませ

また、「社会福祉」につきましまして、平成十年四月より、寝たきり老人家庭への介護手当の支給をはじめ、福祉行政充実の一環として、岩室・分水・弥彦の三町村合

同で、分水町に特別養護老人ホーム建設に向け昨年十月に着工、今

年の完成にむけて工事が進められており、入所を希望されている皆様には、一層満足していただける事と思っております。

一方、今後求められる「広域行政」ですが、昨年、西蒲原郡町村議会議長会において、奈良県の広域行政について研修をいたしました。その中で、今後益々多岐にわたるであろう住民ニーズにこたえていくためには、単独の町村では限界がきており、これからは、近隣町村等と手を取り合い、広域的な行政の推進が不可欠であるとの認識を一層深めたところであります。

次に、昨年より岩室村総合開発審議会で検討・審議を重ねてまいりました、「第四次岩室村総合開発計画」の基本構想が、昨年十二月議会で決定いたしました。これからは、この基本構想に沿った方向で、具体的な実施計画のもと、村民皆様の期待

